

通し番号	回答	コード	カテゴリ	大カテゴリ
◎緩和ケア病棟に入院中の患者が外出する時、担当の看護師として気を付けていることはありますか？				
1	患者によってはいつ急変するかわからない場合もあるため、いつでも必ず連絡が取れる状態を確保する。	急変に備えて、必ず連絡が取れる状態にしておく。	連絡手段の確保	事前準備
2	事前に必ず患者家族を交えてスケジュールを立てる。特に外泊が伴う場合は、もう1日泊まりたいと希望される患者さんもいるが、外泊は1日までという規定があるため、きちんと同意をいただき、家族の方にも理解していただいて、時間・日数を守ってもらうようにしている。	患者家族を交えてスケジュールを立て、外出の時間・日数を守ってもらう。	患者家族を交えたスケジュール管理	事前準備
3	患者様ご自身、患者家族様、双方との連絡手段を確保する。	患者・患者家族との連絡手段を確保する。	連絡手段の確保	事前準備
4	コロナ禍では特に感染症対策に気を遣った。具体的には、人ごみを避けてもらう・マスクの着用・消毒など。	コロナウイルスの感染対策を患者にお願いした。	感染症対策	外出中・外出後の対応
5	患者さんとご家族の方との間でしっかりとスケジュールを立ててもらってから、申請してもらうこと。申請は通ったが家族との予定がなかなか合わずに外出できなかった・スケジュールをずらしたというケースを経験したことがあるため。	患者と患者家族との間できちんとスケジュールのすり合わせをしてから、外出の申請をしてもらうよう促す。	患者家族を交えたスケジュール管理	事前準備
6	まずは患者の状態をしっかりと把握する。安定しているようでも、不安が残る場合は心苦しいが許可できない場合もある。	患者の状態を把握し、場合によっては外出許可を出さな	患者の状態の把握	事前準備
7	基本的だが、薬を飲み忘れないようにしっかりと伝える。解放感や楽しさでうっかり飲み忘れてしまう患者さんが意外といるため、繰り返し伝えるようにしている。	薬を飲み忘れないように繰り返し伝える。	服薬に関する工夫	事前準備
8	外泊する場合は、患者家族に決まった時間にメールや電話で体調の変化がないか連絡してもらうようにしていた。事前もそうだが、外出中も患者の状態ができるだけ把握する方針だった。患者家族には手間をかけたが、お互いに安心できていた。	外泊時、患者家族に定期的に患者の状態を連絡してもらうことで、患者の状態把握に努める。	患者の状態の把握	外出中・外出後の対応
9	感染症対策に気を配っている。外出先で感染してしまわないかだけでなく、ウイルスを持ち帰ってしまわないかという点でも注意が必要だった。そのため、外出から戻って来られた際には、まずはじめに入浴してもらっていた。意外と好評だった。	外出先での感染対策だけでなく、帰ってこられたあとの対策をした。	感染症対策	外出中・外出後の対応
10	服薬するタイミングや量を間違えないように、袋に小分けにして日付を書きなど、手間をかけた。患者家族にも、薬を飲む時はしっかり見てあげてほしいと事前に伝えた。	服薬しやすいよう、忘れないよう工夫した。患者家族にも協力してもらった。	服薬に関する工夫	事前準備